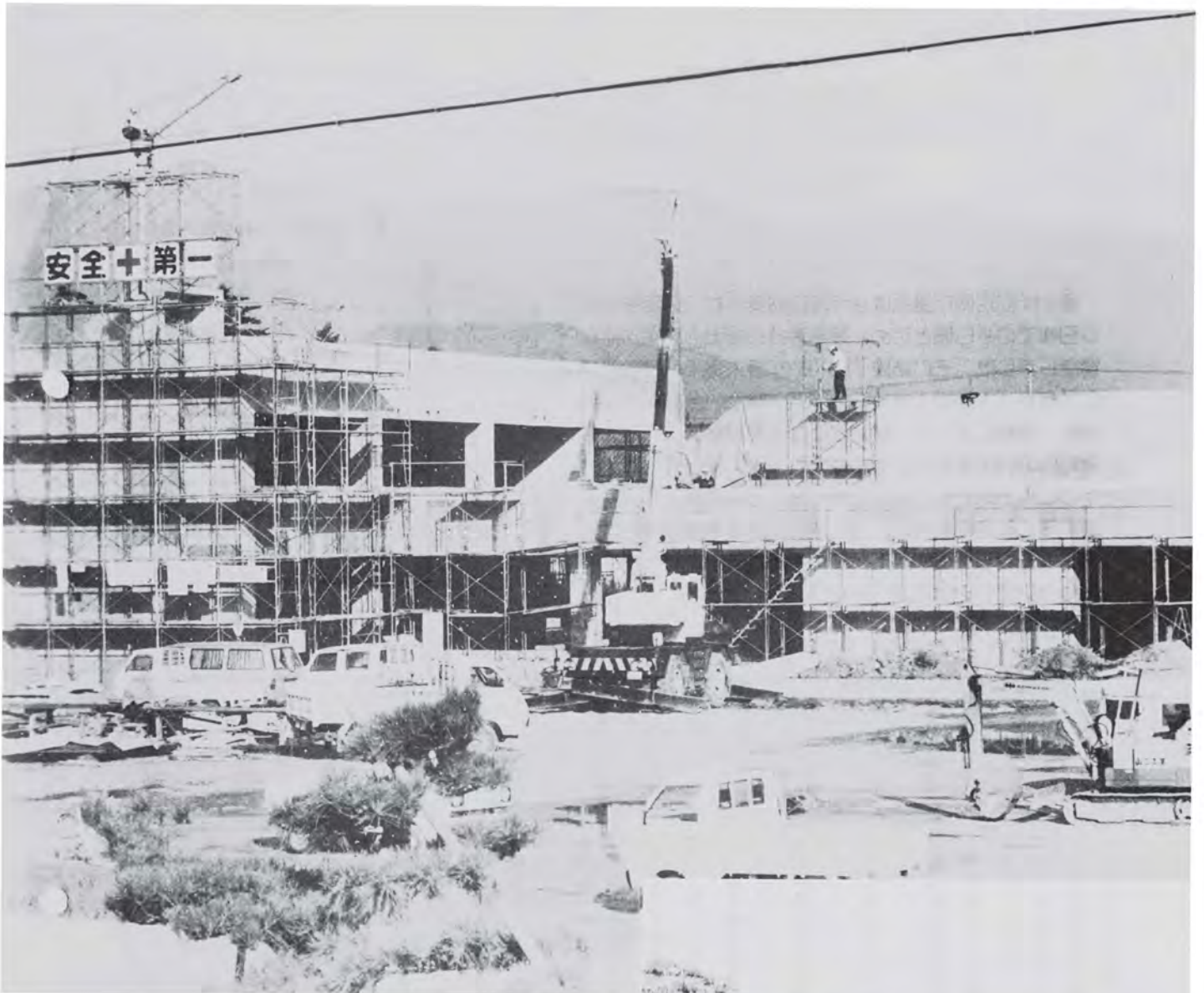


おおの議会だより

No.59

59.11.5



図書館の建設工事順調

約60%が完成、来年4月オープン



市制30周年記念事業の目玉として、7月に着工された図書館の建設工事は順調に進み、約60%が完成。現在、建物の概観が出来てお

り、来年4月には開館予定です。1階には閲覧室をはじめ、書庫・事務室・移動図書館車庫が、2階には視聴覚室・学習室・会議室な

どが設けられます。図書館が完成しますと、その周辺を緑地公園として整備し、民俗資料館や展示館なども併設する予定です。

24議案を可決・承認

市工業振興条例を制定

第214回定例会市議会は9月28日招集され、会期を10月5日までの8日間と定め、理事者から提出の議案24件を審議しました。その結果「昭和59年度大野市一般会計補正予算案」「大野市工業振興条例案」など、全議案を可決承認・同意しました。最終日には議員提案による「人事院勧告の完全実施を求める意見書」「国庫補助負担率引き下げによる地方負担転嫁反対に関する意見書」「非課税貯蓄制度の改定に反対し、現行非課税制度を擁護する意見書」をそれぞれ可決。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

9月定例会

審議日程

- 28日 本会議（会期の決定、議案上程・提案理由の説明、議案第56号質疑・討論・採決）
- 1日 本会議（一般質問、追加議案の提案理由説明・質疑、各案件委員会付託）
- 2日 委員会（産業経済・建設）
- 3日 委員会（教育民生・総務）
- 5日 本会議（委員長報告・質疑・討論・採決、追加議案の提案理由説明・質疑・討論・採決）

市会案第六号	市会案第五号	市会案第四号	第六十一号	第六十号	第五十九号	第五十八号	第五十七号	第五十六号	第五十五号	第五十四号	第五十三号	第五十二号	第五十一号	第五十号	第四十九号	第四十八号	第四十七号	第四十六号	
非課税貯蓄制度の改定に反対し、現行非課税制度を擁護する意見書について	国庫補助負担率引き下げによる地方負担転嫁反対に関する意見書について	人事院勧告の完全実施を求める意見書について	人権擁護委員候補者の推薦について	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	大野市農業者健康管理センター新築工事請負契約の変更について	大野市地下水保全条例の一部を改正する条例案	大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	（昭和五十九年度老保特会補正予算（第一号））	専決処分の承認を求めることについて	昭和五十八年度大野市水道事業会計決算認定について	町及び字の区域並びに名称の変更について	損害賠償の額を定めることについて	大野市道路線の認定、変更及び廃止について	大野市公民館設置条例の一部を改正する条例案	大野市工業振興条例案	大野市農業者健康管理センター設置条例案	大野市立集会所設置条例の一部を改正する条例案	旧大野町有給吏員退職料退職給与金、死亡給与金遺族扶助料支給条例の定めるところによる受給者に対する退隠料等支給条例の一部を改正する条例案
〃	〃	原案可決	〃	〃	同意	〃	〃	原案可決	承認	認定	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	原案可決

市政をきく 一般質問から



移転改築が望まれる大野高校

大野高校の移転問題 について

問 大野高等学校の敷地は3万平方メートルに満たず、非常に狭いうえ校

舎の老朽化が著しい。積雪地帯にふさわしくない校舎も一部あるので移転改築が望まれているが市長はどのように考えるか。

答 たしかに大野高校は敷地面積が狭いうえ、県内の高校でも極端に規模が小さい。校舎の老朽化も甚だしく、これまでも同窓会やPTA等でもいろいろと討議されて

きた。最近、PTAの理事会で現在地での敷地の拡張は困難であるので、移転を基として考えるよう結論を出したと聞いている。

移転するとなれば用地の確保等について努力したい。

59年度予算の執行 状況について

問 59年度は早くも半年が過ぎた。

予算は積極的かつ効果的に執行されていると思うが、事業費の執行状況について伺いたい。

答 土木関係で58.8%、都市計画関係で64.3%になっている。国の補助等のある事業については、認可時期の関係から多少遅れる場合もある。また、水田の刈り取り後でない^{ちよく}と着手出来ない事業もありこれも多少遅れるのではないか。

これから冬期に向かうので事業の進捗には極力努力するよう担当課に指示してある。

議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第三十八号	昭和五十九年度大野市一般会計補正予算(第二号)案	原案可決
第三十九号	昭和五十九年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)案	"
第四十号	昭和五十九年度大野市水道事業会計補正予算(第一号)案	"
第四十一号	議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	"
第四十二号	大野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	"
第四十三号	大野市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案	"
第四十四号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	"
第四十五号	大野市職員の定年等に関する条例案	"

永年勤続表彰

全国市議会議長会総会において25年以上勤続議員として高田新左衛門議員が特別表彰されました。

汚水対策について

問 市内の浄化槽は 2,000基を超え、さらに、家庭からの雑排水や合成洗剤等で河川の汚染が進んでいる。汚水処理のメカニズムをもっと積極的に市民に知らせたり、浄化槽の管理体制を確立する必要があるのではないか。

答 簡易浄化槽については昭和60年10月から「浄化槽法」が施行され、設置者に厳しい管理が義務づけられることになっている。今後とも保健所と協力しながら適正な維持管理の指導に努めたい。

生活雑排水の汚染は合成洗剤の使用が大きな原因となっているので「石ケン」を使うよう、これからも生涯教育の一環として一層力を入れて取り組みたい。

公営住宅について

問 中挾の新しい市営住宅には相当数の応募があったが、まだ空室が残っていると聞く。せっかく建設されたものの遊休についてどう考えるか。また、下舌にある住宅



改造以来利用されていない身障者用住宅



朝の交通ラッシュで渋滞する車（上新橋付近）

を身障者用に改造したが活用されていない。これは、市街地から遠く離れ不便だからではないか。

答 中挾の住宅は9月に全部が詰まり、空室がなくなった。下舌の住宅は障害者の方からの希望で56年に改造したが、以来3年間利用されていない。この住宅は軽度の身障者の方を対象としている。重度の方には付添者が必要であったり、設備等においてもいろいろ問題があるので、あの程度の改造では生活に支障があるのではないかと思う。

交通問題について

問 国道157・158号線の改良・改築、高規格道路の新設、越美北線の完結など、当市の交通問題は多いがその整備が大変遅れている。

市長はどれに重点をおいて取り組むのか。

答 国道158号線については、昨年三万谷トンネルが着工された。

これの早期完成を要望したい。大野・美山間の二次改築については、まだ路線が決まっていないの

で、県で調査費をつけてもらい早く決定してもらわねばならないと思っている。路線が決まり次第大野側からの着工も運動したい。

157号線については、年間5億円程度が投入されている。温見峠までの未改修部分はわずかであるが多くの工事費を要するので予算獲得に努力したい。

越美線については南線が廃止対象になっており、これが今後第三セクター方式でいくのか、バス転換に踏み切るのかまだはっきりしていない。これからは岐阜側と協力しながら対応を考えたい。

人 事

教育委員会委員の任命に同意

- ・浜 龍 一氏（56歳）
（木本49号24番地）
- ・南 正 雄氏（65歳）
（田野21号8番地）

人権擁護委員候補者の

推薦に同意

- ・田中 安藝子氏（55歳）
（天神町3番4号）

繊維産業の不況と
雇用対策について

問 当市の基幹産業である繊維産業は消費者の欲求の変化・発展途上国の激しい追い上げ等から、かつてない深刻な不況に遭遇している。最近の実態は62社、織機4,480台のうち、全休しているのが7社382台、一部休が17社・800台となっており、30%の織機が休んでいるという。

失業者も430人に達し、78%が中高年齢者というが、市長は転廃業者の救済対策と離職者の再就職の促進についてどのように考えているのか。

答 繊維産業はこれまでもいろいろと不況の波を受けてきたが、今回はこれまでとは違い深刻である。中には廃業する企業や転業に踏み切る企業も出ている。市としてもこれまで利子補給を行うなど最大の努力をしてきたが、今日では利子補給や融資枠の拡大等だけではとてもおぼつかないほどの深刻な状況にある。

再就職についても、中高年齢者が対象となっているので、なかなか思うようにはかどらないが、いろんな窓口を設けてでも努力しなければならないと考えている。



不況に悩む織物工場

請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願8号	精神障害者社会復帰施設の設置について	精神障害者家族会(あらしま会) 会長 松田 勲 外28名	採 択
請願9号	旧町名復活について	旧町名復活市民の会 会長 大門俊我 外13名	継続審査
請願10号	魚腸骨残の処理費の助成金応分の増額について	奥越魚残組合大野支部 支部長 西村 豊 外44名	採 択
請願11号	小山小学校々舎の改築について	小山小学校建設促進委員会 委員長 佃 俊夫	採 択
請願12号	非課税貯蓄制度の存続について	大野市連合婦人会 会長 永田 房子	採 択
請願13号	鍼灸マッサージ療養費の交付改善措置について	大野市保険鍼灸マッサージ師会 代表 酒井 清外15名	継続審査
請願14号	市道下黒谷区内線の改良について	下黒谷 区長 吉田忠雄 外5名	採 択
請願15号	外国人登録法の改正について	在日本朝鮮人聯連合会福井県奥越支部 常任委員 李 考一	継続審査
請願16号	水路の改修及び通水工事について	春日1丁目下区 区長 山田鷹雄 外19名	採 択
陳情11号	町字区域の名称変更等について	北部第二土地区画整理組合 理事長 遠藤 晃 外14名	採 択
陳情12号	道路側溝一部底下げ改良工事について	中荒井1丁目 区長 坪井千蔵 中荒井2丁目 区長 葭安光成	採 択
陳情13号	市道小矢戸・東大月・清掃センター線の舗装整備について	小矢戸 区長 石本二男 西大月 区長 土谷好文	採 択
陳情14号	幹線農道の市道編入について	小矢戸 区長 石本二男	継続審査
陳情15号	大矢戸区一部市道昇格について	大矢戸 区長 竹島重雄 外7名	継続審査
陳情16号	側溝の改良について	日吉町3-16 北山 栄 外16名	採 択
陳情3号	地下水の管理体制の強化と施行について	錦町4-36 中村雄次郎 外14名	継続審査
陳情7号	鉄骨加工業者の経営安定化について	大野鉄工金属協同組合 代表理事 安間 利夫	継続審査
陳情10号	市発注の諸施設について 畳に関するものの分離発注について	大野畳同業組合 組合長 畳谷 剛	継続審査

委員会報告

各委員長報告から

●建設委員会

①土木関係事業について

土木関係事業については、特に市民の要望が強いとのことである。

厳しい財政事情下ではあるが、要望に応じるよう適確に対応されたいとの要望があった。

●産業経済委員会

①農林業祭について

市政30周年記念に当たり、今年の農林業祭は多くの催しが計画されているようであるが、中でも市民に好評のある特産品の即売会等についても一層盛大になるよう、諸団体の協力を得て実施されたいとの要望があった。

②市工業振興条例について

この制度は工業者の育成と企業立地促進の奨励措置を講じ、工業の振興と雇用機会の拡大を図るも



地下水利用による道路融雪

のであるが、経営の見通しが得られない今日の繊維産業の状況にかんがみ、この制度の積極的な活用を図るとともに、今後あらゆる機会をとらえて不況からの脱却を図るよう、真剣に取り組まされたいとの強い要望があった。

●総務委員会

①新規事業の引き継ぎについて

昨年実施した庁内の機構改革で企画部門を充実して成果を挙げつつあるが、企画が手掛けた新規事業を担当課へ引き継ぐ時期が問題である。

今後、庁内で十分検討し事業がスムーズに進行するよう配慮され

たいとの意見が述べられた。

②地下水保全条例の運用について

この条例の改正は道路融雪装置の使用制限基準を明確にするものであるが、有効的・計画的な水の利用によって交通を確保することも必要なことである。施設そのものを生かせるように弾力的に運用されたいとの要望があった。

③旧町名復活について

なじみの深い旧町名に戻してほしいという請願については、新町名に変えてから既に20年近くを経過しており、若者には定着していること、さらに当市は住所地番・土地の地番・本籍地番がそれぞれ異なっており、全国でも異例の状況にあることなどから、今後関係者が慎重に審議する必要があるとの意見が述べられた。

●教育民生委員会

①精神障害者の社会復帰施設について

精神障害者の社会復帰施設については、その家族会が実施主体となっているが、市は永続的な維持管理・運営等について県や関係機関と連携を図り、必要な措置を講ずるようとの意見が述べられた。



昨年の農林業祭